

脇本商事の 繊維のネタ帳 Vol.90

『縫製副資材のお話～ボタン編③』

みなさんこんにちは!
前回に引き続きボタンについてお話をすすめて行きます～!

ボタンというのはその実用性(機能性)や装飾性の要素を持っています。衣服の合わせ目を閉じたり合わせたりといった事と、外観のデザインによってもその選択は重要なポイントです。

ボタンの色目は生地との量感をポイントにしたり、デザインは布地の質感や感覚で厚みのあるものやプレーンなもの、アクセサリーの要素を持ったものなど、様々な素材やデザインから選んでいきます。

また、ボタンの素材は大きくいくつかに分類されています。貝や角などで出来た天然素材。動物性たんぱく質を使った半合成樹脂。ナイロンやポリエステルなどの合成樹脂。真鍮や混合金属を使った金属ボタン。その他ガラスや陶器、ひも等で作られています。

小さなボタンでも様々な素材やその組み合わせでデザインされています。脇役に感じるボタンですが、ボタンを交換するだけで衣類の印象を大きく変える事ができる主役とも言えますよね～♪



facebook情報宅急便!

www.facebook.com/kkwakimoto

こんにちは! ポピンです～♪
洋服を開閉を留める副資材というのは、ボタン、ファスナー、面ファスナー、スナップボタン、ドットボタン、ホックなど限られています。実は種類分けしてみると少ないんです。

今回紹介するのは留め具の機能を掛け合わせた新しいものです!!
スナップ機能をもったボタンで「BONAP」と呼ばれています。写真をご覧ください。

一見、ボタンのように見えますが、オスとメスにわかれています。そうすることで、スナップボタンのような機能を持ち合わせることが可能になります。

取り付け方もカンタン!
スナップボタンやドットボタンでは、専用

の打ち具といわれる工具が必要ですが、これはボタンのように糸で縫い付けることができ、専用工具を必要としません。お互いを組み合わせるとパチッと音がして留まります。樹脂製で出来ており、錆びなどの心配もありません。

色は黒と薄茶系の2色でサイズは20mmと15mmの規格品です。
新商品の開発にぜひ使ってみては～♪



NET PICKUP!

インターネットで気になる記事をピックアップしてご紹介します。

人に親切にすることで、不機嫌から脱出しよう

lifehackerより
https://www.lifehacker.jp/2017/12/171223_fix-your-bad-mood-with-a-selfless-act.html

2018年の1月もあつという間に終わってしまいましたね。今年は明るく頑張ろうと思っても、どうしても月曜日の朝など不機嫌になってしまいがちです。そんな気持ちをパッと解消する記事をご紹介します♪

URLが長くてサイトにアクセスするのが億劫なあなたへ。
タイトルで検索すると記事にヒットしますので、ぜひお試しください。



Trigger Words!

偉人達の言葉から学ぶ、
人生の道をひらくきっかけ…。
今月は、情報についてです!

「アンテナは高く、頭は低く」。
世の中の変化や技術革新に乗り遅れないために、政治家でもなく、評論家でもなく、常に商人のセンスで、情報をできるだけ収集せよ。
鈴木 三郎助 (元味の素会長)

めまぐるしく変わる世の中について行くためには、まず外に飛び出すことです。量と質といった問題は、その後からついて来るもの。物事にタイムリーに反応するためにも、情報のアンテナを常に磨いておくことです。情報は、行動するためにあります。情報をいくら集めても、それを応用しなければ何にもなりません
中野秀雄 (吉本興業社長)



label-kun.com

平成29年3月30日から家庭用品品質表示法施行規則等が改正されました

主な改正内容は、マフラー、スカーフ及びショールに洗濯表示(取扱表示)を義務付けること。またズボンの裏地について繊維の組成に表示を義務付けること。

http://www.caa.go.jp/policies/policy/representation/household_goods/law/law_04.html
詳しくは消費者庁ホームページをご覧ください。

脇本商事の「和」「輪」「ワッ!」



脇本商事のニュースレターは新コーナー、脇本商事の「和」「輪」「ワッ!」!!!
ってことで、最初の1項目は～スタッフ紹介の巻～
今回のはわたくし「脇本康裕(わきもとやすひろ)」です!

お仕事の内容は?
社長でマネージャーでプレイヤーでときには良い意味でパシリです(笑)。

自分のお気に入りの時間は?
夏は草野球、冬はスキーで思いっきり身体を使って遊んでいるとき。

趣味、好きなことは?
なかなか行けてませんが旅行は大好き。キャンプやBBQでゆったり時間が流れているときが好き。子どもと散歩したり自転車で乗って公園で遊ぶとき。

社長さんはどんな人? Byさくま
野球やスキーをしていて、スポーツマン! とてもタフな人だなと私は思っています。また、問い合わせ等で私達が悩んだり、困っていると、声をかけて助けてくれます。そんな社長ですが、実はよく忘れモノをするお茶目な一面を持っています(笑)。

編集後記

VRの進化
みなさんこんにちは! バーチャルリアリティ(VR)という言葉をご存知でしょうか? VRは環境を作り出す技術のことですがゲームの世界ではバーチャルリアリティ(VR)はもはや急速に浸透して来ており、数年間までは実験的なものかと思っていたのにならぬ間にデバイスが進化して来ましたが、この進化を見てると業界業界を超えて様々な分野でVRがビジネスを変えていくような気がしています。初めて見るようなもの、今まで見ることができなかったものが見れるという体験は社会をガラッと変えるような勢いを感じます。
例えば不動産では360度パノラマカメラで室内を見ることが出来ます。アパレルでは、ユーザーが自分の体の寸法を入力すると仮想空間に自分のアバターを作成する事で実際に試着させ、サイズを確かめる事も出来ます。それによりVR試着システムでフィット感をイメージさせることが可能となるわけです。いわゆる商品の「オンライン試着」というわけです。
WEB上では自分の体型に合うかどうか心配になりますよね。その問題解決になるのですから新たなサービスとして各社がVR試着システムを開発する理由がわかります。
サイズを測るということでは、話題となったZOZO「ZOZO」は採寸用のポディストを着るだけでスマホ専用アプリを操作すると勝手に計測するようになっています。そのほかに「ZOZO」のような小さな部屋に入ると3Dスキャンで約10秒で身体サイズを測るものまであります。これもオンライン試着を可能にするためのもの。
今後さらに感覚的なVRコンテンツまで開発されるとどんな未来が来るのでしょうか。

【編集人/脇本康裕】